

バスで巡るスタンプラリーを開催

秋の行楽シーズンに、バスでひろしまのまちを巡って、オリジナルの景品をゲットしませんか。

図バス協調・共創プラットフォームひろしま(☎962-1006、☎962-2025)



期間限定で8時間乗り放題に！デジタルシティパス

市は、バス事業者8社と共同で、バス事業を利便性が高く持続可能なものとするための取り組みを進めています。

11月は、バスに乗ってひろしまのまちを巡るスタンプラリーを開催。市内中心部の対象エリアでは、路線バスに(土)、(日)、(祝)、(休)は440円で8時間乗り放題のデジタルシティパス(上はスマホ画面のイメージ)がお薦めです。

詳しくは市ホームページで。

市HP ページ番号 1043533



【対象者】デジタルシティパスなどを利用して、次のイベントなどのうち異なる四つ以上を訪れた人

【11月の対象イベントなど】●8(土)・9(日)バスまつり ●8(土)サンフレッチェ広島レジーナの試合 ●9(日)サンフレッチェ広島の試合 ●15(土)・16(日)本通ウーマルシェ ●22(土)安佐動物公園サンちゃんデー ●22(土)・23(祝)のひろしまドリミネーション ●22(土)～24(休)CITY SCAPE! ●23(祝)ひろでんの日 ●24(休)アストラムラインまつり ●広島駅minamoa内常設スポット※

※11/24までの(土)、(日)、(祝)、(休)のみ

【景品】バス車両をかたどったオリジナルピンバッジ1個。先着500人

スタンプラリーへの参加方法

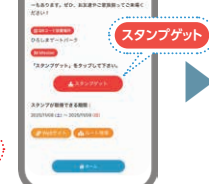
1

スマホで専用サイトへアクセス！



「エントリー」ボタンから参加登録

2



スタンプポイント付近で「スタンプゲット」ボタン

3



スタンプを四つ以上集めたら交換ブースで景品と交換

電化製品の火事にご注意を！

近年、リチウムイオン電池を使用した身近な電化製品など、電気関係の火災が増加しています。火災の発生を防ぐには、日頃の対策が不可欠です。

図消防局予防課(☎546-3476、☎249-1160)

身近にあるリチウムイオン電池

リチウムイオン電池は、私たちが日常的に使っているスマートフォンやノートパソコンなどに組み込まれている、充電式の電池です。軽量・小型ながら、高容量・高出力の電池で、大量の電力を必要とする製品に使用されています。

異常時は爆発することも

強い衝撃がかかったり、真夏の車

内などの高温下に放置されたりすることで電化製品の内部に異常が発生した場合、爆発的に炎を噴き出し、発火することがあります。

使用上の注意事項を遵守！

電化製品は使用上の注意事項をよく読み、安全に使用しましょう。また、バッテリーなどはPSE表示(下)のある正規品を使用してください。



リチウムイオン電池を使用した身近な製品例



火災につながる原因



高温 暖房器具のそばや真夏の車内に放置

衝撃 電池内部の損傷や変形

水没 水が内側に染み込む

▶いずれも発火する危険性があるため、使用を避け、購入店などへ相談を

廃棄 通常のごみとして出すと収集車で衝撃が加わるなどして危険。廃棄方法についてはこちら▶



こどもの今を、未来を守ろう

昨年度、市児童相談所が受けた児童虐待の相談・通告件数は過去最多となる3,186件でした。

早期発見して、虐待から子どもを守りましょう。
図児童相談所(☎263-0694、☎263-0705)



「虐待かも」と思ったら電話を

「虐待？ でも確信が持てない」と放っていたら、虐待が続くかもしれません。早期発見できれば、解決につながります。虐待のサインを少しでも感じたら、ためらわずに電話してください。

児童虐待かもと思ったら 189番へ

全国共通。近くの児童相談所につながります。携帯電話、スマートフォンからはコールセンターのオペレーターがつながります(通話料無料)

親子のための相談LINE

市は、若い世代が利用しやすいよう、LINEで相談を受け付けています。ささいなことでも相談してください。

【対応時間】平日12:00～22:00
※命などに危険があると判断したときなど緊急の場合、関係機関に連絡して安全を確保することがあります

相談の始め方 LINEをインストールしたスマートフォンで右の二次元コードを読み取って「友だち」追加



子育てに関する相談窓口

相談窓口		電話番号		
児童相談所(東区光町二丁目15-55)		263-0694		
相談窓口	区	電話番号	区	電話番号
こども家庭センター (区地域支えあい課内)	中	504-2739	安佐南	831-5017
	東	568-7794	安佐北	819-0639
	南	250-4160	安芸	821-2827
	西	294-6519	佐伯	943-9773

【相談日時】(月)～(金)の8:30～17:15。(祝)、(休)、年末年始、8月6日は除く

※虐待に関する通報・相談は、児童相談所で夜間・休日でも電話で24時間受け付け

地震と津波に備えましょう

今後30年以内に60～90%程度以上の確率で発生が予測されている南海トラフ巨大地震。最大で震度6弱の揺れや高さ1.5mの津波により、市にも多大な被害が想定されています。地震と津波への対策を行いましょう。

図災害予防課(☎504-2664、☎504-2802)

救援物資がすぐに届かない恐れ

大規模災害が発生した場合、物流やライフラインがストップして、救援物資がすぐに届かない恐れがあります。そのため、食料や飲料水などを家庭で備蓄しておくことが大切です。

食料・飲料水 (最低でも3日分)

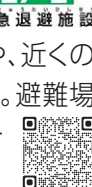
□普段の食料を少し多めに □インスタントやレトルト食品 □菓子類
□缶詰 □飲料水(1人1日3ℓ) など
日用品 □ラジオ □懐中電灯 □カセットコンロ・ボンベ □食品包装用ラップ □カイロ □常備薬 □簡易トイレ □マスク など

「指定緊急避難場所」の確認を

あらかじめ、近所にある高台や、津波に対応した「指定緊急避難場所」を確認しておきましょう。

危険が差し迫った場合は「浸水時緊急退避施設」などへ

指定緊急避難場所などへの避難の途中で、津波の危険が差し迫った場合は、「浸水時緊急退避施設」や、近くの頑丈な建物に退避しましょう。避難場所などの確認は、津波ハザードマップ(右二次元コード)で。



リポート

命を守るための備えを - 青崎一丁目自主防災会 -

南区の青崎一丁目では、地震発生時に、地区の大半で津波による浸水が想定されています。

6月、地区の住民50人が、避難経路や避難場所、危険箇所などを確認する訓練を行いました。



参加者は、避難経路を歩き、浸水時にふたが外れる可能性があるマンホールの周辺など、気を付けるべき点などを確認。情報を集約し、地域の「わがまち防災マップ」に反映させました。会長の松本賢二さん(77・上写真)は「いざというとき、誰もが命を最優先に守れるよう、備えたい」と話します。